

皆様いかがお過ごしでしょうか？

この通信の発行も50回を迎えました。ここ2・3年発行のペースが落ちてきましたが50回の発行に嬉しく思います。第一号が平成17年1月でしたので足掛け10年継続出来ました。

この通信の発行の想いは、「お客様との関わりと独自性」という事でした。

この保険の仕事へ転職した初期は、お客様の数も少なく、個々のお客様に顔を出すことも出来ましたが、お客様の数が増えてくれば、皆様を個別に訪問しお伝えすることも難しくなってくるだろう・・・と思い、どうすればお客様と関わりを持ち続けることが出来るだろうか・・・どうすれば私の独自性が伝えられるか・・・と考え始めたのがこの通信でした。

発行を継続していると「伝えたいこと」「自身の学び」「美味しいお店の探索」等々”気づく”触覚がどんどん広がってくることを実感しました。この通信で紹介させて頂いた事が私のこの10年間のエキスポだったような気がします。

お陰さまで皆様とご縁をいただき、自分自身のステージも随分上がったような気がします。

ここ数年、人の輪が広がり、保険の契約をいただくことより、その輪を生かし 如何にお客様へ貢献出来るか・・・と考える事が出来るようになってきました。

保険と言うのはリスクに遭遇した時にしか役には立ちません。事業を営む方々は如何に売上を上げ、利益率を改善し、人財を育成するか・・・が重要な課題です。その重要な部分にお役に立てるような仕事をしたいと思う今日この頃です。

次は100号目指して頑張ります！

次回発行予定平成27年8月予定です。

大ちゃんのこの一冊

「100%幸せな1%の人々」 小林正観

10年程前になりますが、私のお客様に薦められ読んだ小林正観氏の著書。入院中に読もうと本屋で何となく手に取った本でした。何と病氣入院中の私にはピッタリ！これは偶然ではなく必然に選んだ本でした。

松下幸之助翁「日々のことば」より

誰でもそうやけど、反省する人は、きっと成功するな。

本当に正しく反省する。

そうすると次に何をすべきか、何をしたらいいかとかということがきちんとわかるからな。それで成長していくわけや、人間として。

大ちゃんの独り言

今年の1月5日から生まれて初めて、入院・手術を経験しました。10泊11日の入院生活でした。昨年9月に年に一度の箕面市の市民健康診断を受診した時、腹部エコーで腎臓に陰があるので精密検査を・・・との事。その後、豊中市民病院でCT検査、MRI検査を受け、結果「腎臓に初期ではあるがガンの可能性」との診断。良性かもしれないがガン化することもあるので開腹切除が望ましいとの事。腎臓の部分切除の予定だが、場合によっては片側の腎臓摘出もあるとの事。仕方なし・・・とあきらめ手術を決意。

1月6日、全く自覚症状も無いまま、手術室で麻酔で眠らされるまで「どこが悪いんやろ・・・」という感覚。約6時間の手術が終わり看護婦さんから「小林さん！小林さん！終わりましたよ」との言葉で、朦朧とした意識の中で「終わったんや・・・」と思った瞬間、体に管がいっぱいつながれ身動きが自由に出来ない・・・その時はじめて「病人や・・・」と自覚した次第。その夜は一睡も出来ず、やたらと喉が渇き1時間毎ナースコールをしようがいをさせてもらう。翌日は寝不足と手術のストレスのせいか、血圧が200に上がり頭痛としんどさで苦しむ。手術って体力いるな・・・と実感。術後2日目から「歩け」の指示。身体に「このやろう！」と言いながら歩く。日々、体の管が外されていく度に、病院食が変わっていく度に、回復を実感。

当たり前だった日常に「幸せ」を痛感。当たり前だった事すべてに「感謝」。毎晩、睡眠薬のお世話になったものの、その後は経過も良く、約20cmの開腹にも関わらず、10日で退院。仕事も二週間後には復帰し現在に至る。息子大志が昨年から一緒に働いていたことで助かった次第。

摘出した部位の検査の結果、「細胞性腎ガン」との診断確定。当面経過観察のため年に4度ほど精密検査。しかし抗がん剤等は必要なし。こんな事でも起こらないと精密検査は受けないな・・・とある意味感謝。

父は55才で退職後、10年間健康診断も受けず、母に連れられ無理やり受診の結果「胃ガンで余命3ヶ月」の診断であった。前職の尊敬する先輩が胃ガンで逝ったのが私と同じ50才だった・・・その半年前の会社の簡単な健康診断では「異常なし」との診断だったようだが・・・

腎臓は肝臓と同じく「沈黙の臓器」といわれ、自覚症状が出た段階では病気はかなり進行しているとの事。よく市民検査の腹部エコーで見つけてくれたことか・・・それも当初は5月度に予約を入れていた検査を都合で9月度に延期していた。5月の段階では見つからなかったかも・・・「生かされたかもしれない・・・」と思う日々。二年前に肝臓ガンで他界した母が「お父さんがああやったから、検査だけはちゃんと受けておき！」とよく言われていた。

保険の販売を業としている身だが、保険は「事」が起こってからではじめてお金が支払われる仕組み。

保険にお金をかける前に、是非「継続した健康診断」にお金をかけていただきたいと痛切に思う次第。

1万円ほどの追加検査が身体の悪さを発見してくれることもある。

入院しあらためての生命保険や医療保険の必要性を考える次第。特に事業主の皆様にはお伝えしたいと思う今日この頃。

今回の経験で気づいた事が二つある。

一つは、人は必ず老い、いづれ死を迎える・・・という至極当たり前の事。

一つは、人生は「自己満足の追求」ではないかという事。イチローほどではないが、さらに高みを追求して行きたい。

大ちゃん通信第50号記念号にふさわしい話題だったと自画自賛！・・・現在全く大丈夫です！

私の携帯電話のメールアドレスです。お問い合わせ等の際、ご活用下さい！

sunclo_daisuke.2007@softbank.ne.jp